

天  
地  
神  
皇  
御  
紀  
一

天  
地  
神  
皇  
御  
紀  
一  
漢  
紀  
百  
氏  
の  
周  
の  
帝  
年  
よ  
り  
の  
皇  
の  
春  
よ  
り  
の  
言  
の  
紙  
白  
せ  
と  
以  
て  
也  
有  
り  
祭  
せ  
し





改正和漢年代記序

動うごいこくこ四よ時じととるるのの六ろく天てんのの法ぽう也なり運うんす

よりよりくく變へんありあり釋しやくありありてて其その物ものととりりまま

地ちのの遠とほまりまりけけるるにに化くわししてて人ひとをを方かた物もの

乃すなはちち其そののの氣き質しつをを奇きととすす

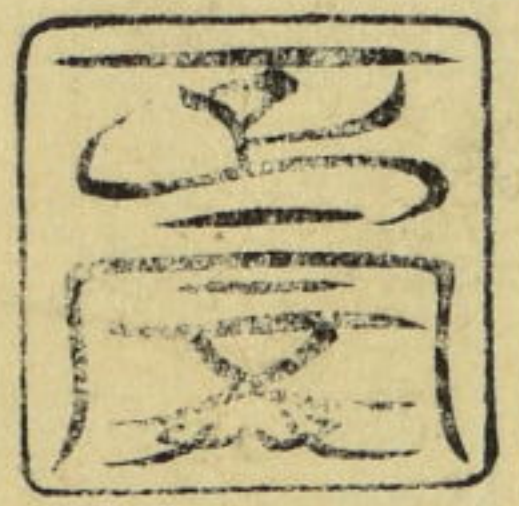
ととひひてて賢けん愚ぐ得とく失しつのの差さららぬぬ乃すなはちち地ちのの

年代記序

変化人事の正の歴史を著すものなり  
と共の歴史を載て古今の事跡明ふ  
尺の史の家の両切の流記を編て  
乞の合運と次て年代記と号し新の  
國智前より吉田光由海の補の梓  
の授めて申る行るる事何年ぞ記す

とと展轉傳るる一と道魯子撰出る  
らひ歴年とあ後の回亦是多し予  
今幸ふく家あよ便の家家の記編を  
はて其誤ると正し一闕ると補ひて又  
帝家のあふ和字とくく成記  
後世とふくきとりよ嗚呼書とふく

するものなるを葉とおくぬと古哲ふ氏  
 ちり予 出く 拂ふま 鳴つて 落んと  
 とる名明者出く重ぬくちまひを訂すハ  
 幸甚くしと 承 抄て書ふ



改正和漢年代紀卷之一

大日本國

震旦國

天神 國常尊

天地 陰

才 盤古氏

清陽 故

陽りてさる時渾沌と  
 雞の子はとてはのふて  
 牙とやかり其清陽有  
 者ハ薄靡て天とかり重  
 出く者ハ地とかり神其  
 小生た是と國常尊と云

一才 盤古氏 清陽と  
 氣升て天とかり出く  
 陰とかり凝故と氣降て  
 地とかり沖和の氣人となり  
 天地いまさるしと時ハ唯  
 一氣なり渾沌と云と雞  
 の子のとて盤古其小  
 生と又渾沌氏とい天荒  
 生して其姑と云と云

才 國狹稚尊

百億万歳

三才 豐斟濟尊 百億方歲

四才 泥土煮尊 二百億方歲

五才 大戸道尊 二百億方歲

六才 面足尊 二百億方歲

七才 伊弉諾尊 二方三才 四十歲

八才 天照太神 二十五方歲

九才 天照太神 二十五方歲

一才 天皇氏 見才十三人 一万八千歲

二才 地皇氏 見才十一人 八千歲三辰

三才 人皇氏 見才九人 四万五元

四才 五竜紀 見才五人 廿七万三元

五才 攝提紀 見才九人 四万五元

六才 攝提紀 見才九人 四万五元

七才 攝提紀 見才九人 四万五元

八才 攝提紀 見才九人 四万五元

九才 攝提紀 見才九人 四万五元

十才 攝提紀 見才九人 四万五元

十一才 攝提紀 見才九人 四万五元

十二才 攝提紀 見才九人 四万五元

十三才 攝提紀 見才九人 四万五元

四万九千五十三年よりして 地皇氏乃統よわらる

六万七千五十三年よりして 人皇氏此元よわらる

十一万二千六百五十三年よりして 五竜紀乃元よわらる

九十三万三千七百七十七年よりして 攝提紀乃元よわらる

九十三万三千七百七十七年よりして 攝提紀乃元よわらる

九十三万三千七百七十七年よりして 攝提紀乃元よわらる

年代記

才 彦火島見尊

六十三万七千八百

辛酉

合離紀

三姓六万三千年始  
て民よ亦居とて教

元

九十二歳○此内十七万五千七百九十二年より七合離の元よあふ

廿三万八千七百九十二年は  
て連通紀の元よあふ

辛酉

連通紀

六姓六万九千年

元

此万七千七百九十二年より  
て叙命紀の元よあふ

辛酉

叙命紀

四姓四万年

元

此四万七千七百九十二年より  
て循蜚紀の元よあふ

辛酉

循蜚紀

廿二氏

元

因提紀

十三氏

因提紀

十九氏循蜚の廿二氏  
辛酉より禪通

元

禪通紀

十九氏

禪通紀

十九氏禪通の廿二氏  
辛酉より禪通

元

才 鷓鴣草葺皇命尊

八十三万

辛亥

才 太昊伏羲

姓八風伏羲氏  
この民よ佃漁

元

甲十二年○此内八十一万五千  
五百八十七年よりて伏羲の  
元年よあふ

十一年

伏義の城より位  
ははるる百九千

才 女媧氏

伏義の城より位  
ははるる百九千

元

八十一万五千六百九十七年  
女媧の元年よあふ

乙丑

才 女媧氏

伏義の城より位  
ははるる百九千

元

- 共氏
- 大庭氏
- 柏皇氏
- 中央氏
- 粟陸氏
- 驛連氏



八十三万三千	辰	帝明	明の子なりたむじろし四十五年元
四百八十四年	申	帝義	義の子なりたむじろし四十九年元
神農の元	酉	帝臨魁	臨魁の子なりたむじろし六十年元
		帝臨魁	神農の子なりたむじろし八十年元
		帝義	臨魁の子なりたむじろし六十年元
		帝明	義の子なりたむじろし四十九年元

神農の元  
四百八十四年

姓ハ善初七五穀と執首草  
と嘗て本州と作る又日中  
の帝と号して商と教ゆ治るし百四十年  
神農の子なりたむじろし八十年元

七百八十七年のわぬごなり  
代乙丑より丁卯の年卯より丁酉の年  
●赫胥氏 ●母慮氏 ●混沌氏 ●吳英氏 ●有巢氏  
●朱襄氏 ●葛天氏 ●陸康氏 ●無懷氏 ●以上十五

八十三万四千	酉	帝宜	宜の子なりたむじろし四十八年元
四年黃帝	戌	帝來	來の子なりたむじろし四十二年元
乃元年より	亥	帝裡	裡の子なりたむじろし五十五年元
		帝裡	尤乱とてたむじろし帝縁鹿へし
		帝宜	尤乱とてたむじろし帝縁鹿へし
		帝來	尤乱とてたむじろし帝縁鹿へし
		帝宜	尤乱とてたむじろし帝縁鹿へし

姓ハ公孫名ハ軒轅より元  
有能國の君なり榆園  
と改集して戦ひ堯と縁鹿とて誅と諸  
侯尊て天子とて治るし百年内経と作

年代記



八十三万四千  
百四年  
壬子

少昊金天氏

史記不傳位

年壽百歲

八十三万四千  
百八十八年  
丙子

顓頊高陽氏

黃帝の孫昌意の子也姓ハ姓  
活ろし七十八年壽九十七歲

八十三万四千  
百六十六年  
甲午

帝嚳高辛氏

少昊の孫蟠極の子也名ハ父  
活ろし七十年壽百五歲

八十三万四千  
三百九十六年  
甲辰

帝摯

帝嚳の子也荒嫫て度り  
在位九年元  
活ろし諸侯すく才の放勳也位即

八十三万四千  
三百九十六年  
甲辰

帝堯陶唐氏

帝嚳の子なり姓ハ伊祁名  
放勳○国月と置四時と

八十三万四千  
四百九十九年  
丙戌

帝舜有虞氏

顓頊五代の孫父と摯腹  
子姓ハ姚名ハ重花九三

八十三万四千  
四百九十九年  
丙戌

夏一帝禹

黃帝の孫顓頊の孫父と舜  
子姓ハ似名ハ文命○元年寅

八十三万四千  
四百九十九年  
丙戌

啓王

禹の子ガリ○禹益と天よめ  
活ろし六年禹崩して諸侯啓

八十三万四千  
四百九十九年  
丙戌

太康

啓の子ガリたむらと廿九年  
元

八十三万四千  
四百九十九年  
丙戌

啓王

禹の子ガリ○禹益と天よめ  
活ろし六年禹崩して諸侯啓

八十三万四千  
四百九十九年  
丙戌

太康

啓の子ガリたむらと廿九年  
元

八十三万四千  
四百九十九年  
丙戌

啓王

禹の子ガリ○禹益と天よめ  
活ろし六年禹崩して諸侯啓

八十三万四千  
四百九十九年  
丙戌

太康

啓の子ガリたむらと廿九年  
元

八十三万四千  
百四年

壬子

少昊

黃帝也姓名摯又の名玄  
眞治りしと八十四年壽百歲

元

八十三万四千  
百八十八年

丙子

顓頊高陽氏

黃帝の孫昌意の子也姓ハ姓  
治りしと七十八年壽九十七歲

元

八十三万四千  
百六十六年

甲午

帝嚳高辛氏

少昊の孫蟠極の子也名ハ父  
治りしと七十年壽百五歲

元

八十三万四千  
三百九十六年

甲辰

帝摯

帝嚳の子也荒嫫て度り  
在位九年  
して諸侯すも才の放勳也位即

元

八十三万四千  
三百九十六年

甲辰

帝堯陶唐氏

帝嚳の子也姓ハ伊祁名  
放勳○日月と置四時と

元

八十三万四千  
三百九十六年

甲辰

帝舜有虞氏

定じ○甲午年よ舜生る○七十年よ舜と  
拳用ハ二人の女と妻せ哉りし二年舜位と  
ぬるしと廿八年りて堯崩す壽百十六歲

元

八十三万四千  
四百九十九年

丙戌

五才 帝舜有虞氏

顓頊五代の孫父と摯腹  
子姓ハ姚名ハ重花九三

元

八十三万四千  
四百九十九年

丙戌

夏一才 帝禹

黃帝の玄孫顓頊の孫父と舜  
子姓ハ似名ハ文命○元年寅

元

八十三万四千  
四百九十九年

丙子

二月 啓王

禹の子也○禹益と天よとめ  
多とと六年禹崩して諸侯啓

元

八十三万四千  
四百九十九年

甲申

三月 太康

啓の子也○啓の崩す壽百歲

元

八十三万四千  
四百九十九年

甲申

三月 太康

啓の子也○啓の崩す壽百歲

元

八十三万四千  
四百九十九年

甲申

三月 太康

啓の子也○啓の崩す壽百歲

元

壬戌	四才	仲康	太康の子なりけむじろし十三年元
----	----	----	-----------------

乙亥	五才	王相	仲康の子なりけむじろし廿八年元 ○八年寒浞わが君を殺し○廿
----	----	----	----------------------------------

八年寒浞王相と帝を殺す

癸卯	六才	少康	王相の子なり寒浞位をうづみ し四十年寒浞と謀りて位よ
----	----	----	-------------------------------

きく前後の位六十二年

甲辰	七才	王桀	少康の子なりけむじろし十一年元
----	----	----	-----------------

辛酉	八才	王槐	桀の子なりけむじろし廿六年元
----	----	----	----------------

丁亥	九才	王芒	槐の子なりけむじろし十八年元
----	----	----	----------------

乙巳	十才	王泄	芒の子なりけむじろし十六年元
----	----	----	----------------

辛酉	十一才	不降	泄の子なりけむじろし十九年元
----	-----	----	----------------

庚申	十二才	王扃	不降の子なりけむじろし二十一年元
----	-----	----	------------------

辛巳	十三才	王廛	扃の子なりけむじろし廿一年元
----	-----	----	----------------

壬寅	十四才	孔甲	不降の子なりけむじろし廿九年元 廿七年高の湯王いまる
----	-----	----	-------------------------------

癸酉	十五才	王皐	孔甲の子なりけむじろし十一年元
----	-----	----	-----------------

甲申	十六才	王發	皐の子なりけむじろし十九年元
----	-----	----	----------------

庚申玉局より元禄六年一二三五六七十八年三成

癸卯

十 履癸

桀の子發の子なり位よありし五元  
十二年妹者と愛して嬖虐代  
肆一 大の政と乱り終る商の湯王よ  
滅さる○商より十七代四百九十九年より夏己

乙未

商 一 成湯

姓ハ子名ハ履字ハ天乙黃帝此  
子孫なりたはしし十三年

戊申

二 太甲

湯の孫太丁の子なりたはしし  
と此三年

辛巳

三 伊尹

太甲の子なりたはしし廿九年  
八年伊尹死す

庚戌

四 太庚

太甲の子伊尹乃とてなりたは  
しし廿五年

乙亥

五 小甲

太庚の子なりたはしし十七年

壬辰

六 雍己

小甲のとてなりたはしし十二年  
政道とと久諸侯をむく

甲辰

七 太戊

雍己の弟なりたはしし七十五年  
伊陟と相と政正しく道又とんかり

己未

八 仲丁

太戊の子なりたはしし十三年  
都と驚よるす

壬申

九 外壬

仲丁のとてなりたはしし十  
五年

丁亥

十 河亶甲

外壬のとてなりたはしし九年  
年都と相よるす

丙申

十一 祖乙

河亶甲の子なりたはしし十  
九年都と政よるす

乙卯

十二 祖辛

祖乙の子なりたはしし十六年

辛未	丙申	戊辰	癸巳	庚子	戊辰	巳
三十	四十	五十	六十	七十	八十	九十
沃甲	祖下	南庚	陽甲	盤庚	小辛	小乙
祖辛也ともなりおさむらし廿五年元	祖年の子なりたむらし廿二年元	沃甲の子なりたむらし廿五年元	祖下の子なりたむらし七年道元 まこととら諸侯朝せだ	陽甲の子なりたむらし廿八年元 都と毫よりつて湯の都す所 よ從ふ商と改め殷とて政正く道まことなる	盤庚の子なりたむらし廿一年元	小辛の子なりたむらし廿八年元

丁巳	丙辰	癸亥	丙申	壬寅	癸亥
十二	一廿	二廿	三廿	四廿	五廿
武下	祖庚	祖甲	廩辛	庚下	武乙
高宗といふ小乙の子なり傳説と云て相と道隆にたむらしつる	武下の子なりたむらし七年元	祖庚の子なりたむらし廿三年元 ○八年周の文王じまら	祖甲の子なりたむらし廿六年元	廩辛の子なりたむらし廿一年元	庚下の子なりたむらし廿五年元 玉皇道あり人ごとを為りこれ天 神と号博奕とら天神またがれ天 敷と又天と射しひて草衣よ血とけみ

仰てしとを在位四年うて河渭の間  
狩と俄に雷ありひらして王崩す

丁卯 武王の子なりおさむるに三年 元

庚午 帝の子なりおさむるに七年 元

辛未 帝の子なりおさむるに八年 元

○廿三年周の武王ひまら  
帝の太子なり微子の嫡子といふ

○廿四年周の文王薨と壽九十七歳子  
の武王周を治むるに

○武王周を治むるに  
後とゆへ賢臣と殺し姐已よおさむるに

○武王周を治むるに  
と肆より刑と重と是よりおさむるに

○武王周を治むるに  
と終小周の武王ははるがさる湯より廿八

代六百四十四年うて殷はるる

姓の姫名は發后稷十代の孫  
静と鑄より作る諸侯の位より

○十二年天子の位七年  
○王諸侯と師て

約し牧野に戦て大に敗る紂鹿臺を燔  
死す武王位より天子と改め周より

伯夷 叔齊首陽山よりうて飢死す

王疾多周公壇と作りて王の命より代人と  
祈る王の疾よりしつら愈

乙酉 十二月王崩す壽九十三歳 七

甲申 六

癸未 五

壬午 四

辛巳 三

庚辰 二

己卯 元

武王の元年 元

五百八十一年 元

八十三方五千 元

○是より毎 元

年此支干全 元

紀より元祿六 元

年まで二千八百廿五年よたよぶ 元

庚辰 元

辛巳 元

壬午 元

癸未 元

甲申 元

乙酉 元

辛未沃用多ヨツカフ元禄六年八月二十一日四年成



丙戌	才	二成王	名ハ誦武王の子ウレたさびるし	元
丁亥	東都ノ民周公とて詩と作り其徳と美	七年●魯の伯禽元年		二
戊子				三
巳也				四
庚寅				五
辛卯	百官と正し礼と節し樂と清らる			六
壬辰	三月周公浴と造らるしと東都といふ			七
癸巳				八
甲午	王柩ノ葉と有て珪となり才此叔虞と唐封			九
乙未				十
丙申	周公死す果よ葬らる文公と謚と			十一
丁酉				十二
戊戌				十三
巳亥				十四
庚子				十五

辛也	十六
壬寅	十七
癸卯	十八
甲辰	十九
乙巳	二十
丙午	廿一
丁未	廿二
戊申	廿三
巳酉	廿四
庚戌	廿五
辛亥	廿六
壬子	廿七
癸丑	廿八
甲寅	廿九
乙卯	三十
丙辰	卅一
丁巳	卅二
戊午	卅三
巳未	卅四

庚申	辛酉	壬戌	癸亥	甲子	乙丑	丙寅	丁卯	戊辰	己巳	庚午	辛未	壬申	癸酉	甲戌	乙亥
		四月王崩すこふき五十歳	三月 才 康王 名ハ釗成王の子ナリ後ク 成王康王の二代天下ヲ安ん 刑罰ト用ヒざること四十余年												
元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元

丙子	丁丑	戊寅	己卯	庚辰	辛巳	壬午	癸未	甲申	乙酉	丙戌	丁亥	戊子	己丑	庚寅	辛卯
			魯の考ハ公の元年			魯の考ハ公死すこふき五十歳	魯の考ハ公死すこふき五十歳					魯の考ハ公死すこふき五十歳			
元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元



丙申ヨリ元祿六年三ノ二千七百四十年成凡

壬申	癸酉	甲戌	乙亥	丙子	丁丑	戊寅	巳卯	庚辰	辛巳	壬午	癸未	甲申	乙酉	丙戌
			天竺悉達太子憍頭藍那王遊り				王漢水と濟る漢濱乃人主の船と膠して 此舟中程一幸り膠液舟破て王崩す	名六滿船王の子なりれさびる				佛成道一	天竺優樓頻羅等三迦葉と度す千八家 佛象頭山と竜鬼のふ小法と説	佛舍利弗自遊と度と二百五人出家す
四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五五	五六	五七	五八

丁亥	戊子	巳丑	庚寅	辛卯	壬辰	癸巳	甲午	乙未	丙申	丁酉	戊戌	巳亥	庚子	辛丑
須達金と布て祇園と實寺と建仏と奉	佛拘耶尼国と在て婆陀和のふ	佛柁山と也真陀羅秀と為と説法す	佛穢沢の中と在阿掘とがふと説法	佛尸鳩国と取り弗沙秀と為と説法	佛弥勒のふ小修行本起經等と説ふ	佛迦毘羅国と取り淨飯王と為と説法					佛欲界色界比中間と大集と説ふ	佛好て十六會八部般若經と説ふ	佛と戒律と置ふ	
八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	廿一	廿二



壬子ヨリ元禄六年ニテ二千六百六十四年迄





丁卯	才九 庚王	各八 懿王の子なり 諸侯の威強	元
戊辰		年〇周の威強 諸侯の威強	二
巳巳			三
庚午			四
辛未			五
壬申			六
癸酉			七
甲戌			八
乙亥			九
丙子			十
丁丑			十一
戊寅			十二
巳卯			十三
庚辰			十四
辛巳			十五
壬午	王崩す六十歳		十六
癸未	才十 厉王	各八 懿王の子なり 在位七年 王暴逆無道 詩人これと刺る	元

甲申			二
乙酉			三
丙戌			四
丁亥			五
戊子			六
巳丑			七
庚寅			八
辛卯			九
壬辰	天く阿難寂す		十
癸巳	衛の貞伯死す子にけく		十一
甲午	衛の頃侯の元年〇十二諸侯はなり興る		十二
乙未	曹の孝伯死す子に春にけく		十三
丙申	曹夷伯〇燕の惠侯死す		十四
丁酉	蔡の武侯死す		十五
戊戌	蔡の武侯は元年		十六
巳亥			十七
庚子			十八
辛丑	蔡の山真君胡公と弒し		十九
壬寅	蔡の献公の元年〇宋の房公死す子の		廿

丁卯<sup>イハウ</sup>庚子<sup>イハウ</sup>元祿六年<sup>イハウ</sup>七月<sup>イハウ</sup>廿九日<sup>イハウ</sup>成

八十三万五千八百九年



庚午 陳の僖公の元年 ○宋の僖公死す 十一

辛未 宋の惠公の元年 十二

壬申 所去虜とて崩む 召公周公故と止天子諸 十三

癸酉 位よはくくる ○楚の熊灑死す子に 十四

甲戌 三宣王 啓公諸房王の子なり 十六年 ○周の中興あり尹吉甫 元

詩と作りて羨る ○楚の熊霜乃元年 燕の惠侯死す子に 十六

乙亥 燕の僖侯乃元年 ○魯の貞公死す 十七

丙子 魯の武公 ○曹の戴伯死す 十八

丁丑 齊の房公の元年 十九

戊寅 晋の僖侯死す子に 二十

己卯 晋の献侯の元年 ○秦仲西戎とて 二十一

庚辰 秦の莊侯 ○楚の熊霜死す 二十二

辛巳 魯の武公周朝一二人の子格と 二十三

壬午 見しと命して 二十四

癸未 魯の武公死す 二十五

甲申 其君房公を殺す 二十六

乙酉 十人と謀る房公の子赤と 二十七

丙戌 魯の懿公 ○齊の文公の元年 二十八

丁亥 衛の懿侯死す子に 二十九

戊子 衛の武公元年 ○晋の献公死す子に 三十

己丑 衛の武公元年 ○晋の献公死す子に 三十一

庚午元祿六年三月二十日百廿六年成

庚寅 ●晋の穆侯の元年

十七

辛卯 蔡の夷侯死す子の所事つぐ

十八

壬辰 ●蔡の倍侯の元年

十九

癸巳 甲午 魯の桓公死す子の懿公と弑し之が子とつ

二十

乙未 魯の懿公死す子の懿公と弑し之が子とつ

廿一

丙申 魯の懿公死す子の懿公と弑し之が子とつ

廿二

丁酉 魯の懿公死す子の懿公と弑し之が子とつ

廿三

戊戌 ●宋の成公の元年

廿四

己亥 宋の惠公死す子の懿公と弑し之が子とつ

廿五

庚子 宋の懿公死す子の懿公と弑し之が子とつ

廿六

辛丑 ●宋の哀公の元年

廿七

壬寅 ●宋の戴公の元年

廿八

癸卯 馬をけて人とかり鬼神とす

廿九

甲辰 春魯の伯御と誅し懿公の才と立てつぐ

三十

乙巳 陳の僖公死す子の靈とつぐ曹の戴伯

三十一

丙午 陳の武公の元年

三十二

丁未 ●宋の成公の元年

三十三

戊申 陳の武公の元年

三十四

己酉 楚の熊考死す子の熊とつぐ燕の倍侯死す

三十五

庚戌 ●燕の頃侯の元年

三十六

辛亥 楚の若敖の元年

三十七

壬子 王姜我と干飲とて子王の帥やが

三十八

癸丑 晋の穆侯死す子の穆侯とつぐ太子仇とつ

三十九

甲寅 晋の穆侯の元年

四十

乙卯 晋の穆侯の元年

四十一

丙辰 晋の穆侯の元年

四十二

丁巳 晋の穆侯の元年

四十三

戊午	巳未	庚申	辛酉	壬戌	癸亥	甲子	乙丑	丙寅	丁卯	戊辰	巳巳	庚午
王崩す	十 三 幽王 ○晉の仇瑒叔と殺してた川○ 陳の武公死す子の説けりぐ	○晉の文侯●陳の夷公の元年	王廢似と號す年十四○岐山をりり	秦の莊公死す○陳の夷公死す	秦の襄公●陳の平公の元年	王申后と太子宜臼と廢て廢似と后 り其子伯服と太子とん	王申后と太子宜臼と廢て廢似と后 り其子伯服と太子とん	王申后と太子宜臼と廢て廢似と后 り其子伯服と太子とん	王申后と太子宜臼と廢て廢似と后 り其子伯服と太子とん	王申后と太子宜臼と廢て廢似と后 り其子伯服と太子とん	王申后と太子宜臼と廢て廢似と后 り其子伯服と太子とん	王申后と太子宜臼と廢て廢似と后 り其子伯服と太子とん
四五	四	三	二	一	二	三	四	五	六	七	八	九

辛未	壬申	癸酉	甲戌	乙亥	丙子	丁丑	戊寅	巳卯
十 平王 名宜臼幽王の子なり洛をりり辛元 一年都を東洛邑に遷すなり 東周となぐく●鄭の武公の元年	魯の孝公死す子の弗湟けりぐ	魯の惠公の元年	燕の頃侯死す子の子けりぐ	燕の哀侯の元○秦の襄公宋の戴公死す	秦の文公●宋の武公の元○燕の哀侯死す	燕の鄭侯の元年○楚の若敖死す	楚の霄敖の元年	蔡の倍侯死す子の具けりぐ
元	二	三	四	五	六	七	八	九

庚辰	蔡の共侯の元年	十
辛巳	蔡の共侯死す子にけぐ。○曹の惠伯死す子に石甫にけぐ其才武石甫と弑し之にけぐ	十一
壬午	蔡の戴侯。曹の穆侯の元年	十二
癸未	衛の武侯死す子に楊にけぐ。○楚の晋敖死す	十三
甲申	衛の莊公。楚の蚡冒に元。○曹の穆侯死す	十四
乙酉	曹の桓公の元年	十五
丙戌	陳の平公死す子に圍にけぐ	十六
丁亥	陳の文公の元年	十七
戊子		十八
己丑		十九
庚寅		二十
辛卯	蔡の戴侯死す子に考必にけぐ	廿一
壬辰	蔡の宣侯の元年	廿二
癸巳	宋の武公死す子に乃にけぐ。○魯の桓公の母	廿三

宋の武公死す子に乃にけぐ。○魯の桓公の母	廿三	
甲午	宋の宣公の元年	廿四
乙未	晋の文侯死す。○秦の初に三族の罪有り	廿五
丙申	晋の昭侯に元。○晋其叔父成師と曲沃に封す。○陳の宣公死す子に勉にけぐ	廿六
丁酉	陳の桓公の元年。○鄭の武公死す子に寤生にけぐ其母寤生のとき段と成んとすし仇也にけぐ	廿七
戊戌	鄭の莊公の元年。○鄭の段と成と封す	廿八
己亥		廿九
庚子	楚の武王の元年	卅一
辛丑	楚の武王の元年	卅二
壬寅	晋の潘父其君昭侯と弑し國人昭侯の子と立ててにけぐ。○潘父と謀す	卅三
癸卯	晋の孝侯の元年	卅三



甲辰	乙巳	丙午	丁未	戊申	巳酉	庚戌	辛亥	壬子	癸丑	甲寅	乙卯	丙辰	丁巳	戊午
		衛の荘公死す子完はく	衛の桓公は元年	杞の成公は元年	宋の荘公死す○晋曲沃の成師死す子つぐ	齊の僖侯○曲沃の荘伯の元年	宋の宣公死す○燕の鄭侯死す	宋の穆公○燕の穆侯は元年						晋の鄭侯の元年○魯の憲公死す
卅四	卅五	卅六	卅七	卅八	卅九	四十	四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八

巳未	庚申	辛酉	壬戌	癸亥	甲子	乙丑
魯の隱公の元年○五月鄭の荘公の死す	三月宋の穆公死す宣公は子はく	十植王 各根平王の孫なり流すは三 年○宋の殤公は元年○衛の懿 公其君植公と殺して九月衛の懿公 と殺す十二月晋とたてつぐ	衛の宣公は元年○曲沃の荘伯晋と攻る	晋の襄公は元年	晋の襄公は元年	曲沃の荘伯死す子万はく○秦の文公死す
四九	五十	五一	元	二	三	四

丙寅	●秦乃寧公曲沃の武公元○秦は宣公死す	五
丁卯	●秦の桓侯元年	六
戊辰		七
己巳	十月魯は公子軌隠公と弑し之を以て	八
庚午	●魯の桓公元○燕の穆侯死す	九
辛未	●燕の宣侯の元○宋の花督其君瑒公と大夫孔父をとりて馮と立てしけり	十
壬申	●宋は莊公元○魯曲沃晉と伐て懿侯とを晉人哀侯の子と立てつがし	十一
癸酉	○齊乃姜氏魯よとつぐ	十二
甲戌	●魯の小子侯元年	十三
乙亥	●王鄭とうつ王の肩よ知わらる○陳乃桓公死す	十四

神武ましむ

乙亥	●秦乃人陳の陀と殺し躍と立てしけり	十四
丙子	●陳乃公元○曲沃の武公討て晉の小子侯と弑す	十五
丁丑	●王鄭仲よ命て曲沃と伐哀侯の弟緡と立て	十六
戊寅	●秦乃出子●杞は惠公の元年	十七
己卯	●春曹の桓公死す子の射姑と	十八
庚辰	●曹乃莊公元○五月鄭の莊公死す子の忽と	十九
辛巳	●鄭は昭公の元年○八月陳乃成公死す子の楸と	廿
壬午	●陳乃莊公●衛の惠公元	廿一
癸未	●秦乃三父出子と弑し其兄と立てつがし○齊の僖公死す子の諸見と	廿二

の僖公死す子の諸見と

甲申	○三月王崩す	秦の武公 祭 襄公 燕の植公 元年 廿三
乙酉	十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	名ハ 伋 植王 世子 ナリ 澹 死ス 十五年 元
丙戌	六月 蔡の 植公 死す 魯 宣公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
丁亥	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
戊子	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
己丑	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
庚寅	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
辛卯	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
壬辰	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
癸巳	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
甲午	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
乙未	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
丙申	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年

甲申	○三月王崩す	秦の武公 祭 襄公 燕の植公 元年 廿三
乙酉	十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	名ハ 伋 植王 世子 ナリ 澹 死ス 十五年 元
丙戌	六月 蔡の 植公 死す 魯 宣公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
丁亥	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
戊子	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
己丑	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
庚寅	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
辛卯	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
壬辰	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
癸巳	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
甲午	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
乙未	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年
丙申	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年	○十月 衛 公子 黔牟 死す 魯 惠公 元年

丁酉	戊戌	巳亥	庚子	辛丑	壬寅	癸卯	甲辰	乙巳
		王崩す。八月、宋の萬其君、成公を大吏仇牧と弑す。國人御説を立てて、けり。	十、僖王。名、胡。齊、莊王の子なり。流く。十五年、宋の桓公、元年。	鄭の人、其君子、侯と弑す。曲沃の武公、晉と云く。其君、滑と弑す。室、周、獻、晉、其、事、なり。	鄭の房公、元年。	晉の武公、元年。秦の武公、死す。	秦の徳公、元年。王崩す。晉の武公、死す。	十、惠王。名、釐。魯、宣王の子なり。流く。十五年、晉の獻公、元年。秦の徳公、死す。
十三	十四	十五	元	二	三	四	五	元

丙午	丁未	戊申	巳酉	庚戌	辛亥
秦の宣公、元年。夏、楚の文王、死す。秋、五、太、夫、周、と、伐、王、温、を、奔、る。衛、人、燕、人、と、頹、と、立、て、周、の、王、を、弑、す。冬、秦、の、哀、公、死、す。子、の、辟、と、楚、の、堵、敖、と、蔡、の、穆、侯、と、元、年。春、鄭、の、房、公、燕、の、仲、父、と、と、り、王、孫、を、お、ふ。	春、魏、公、と、鄭、の、房、公、と、王、と、奉、ト、て、周、を、敗、つ、る。頹、と、五、太、夫、と、と、誅、す。鄭、の、房、公、死、す。	鄭、の、文、公、の、元、年。晉、の、驪、戎、と、伐、驪、姫、と、は、も、て、敗、る。陳、の、太子、禦、寇、と、殺、す。完、と、顓、孫、と、孫、を、奔、る。楚、の、熊、惲、其、君、杜、敖、と、弑、す。一、と、り、成、公、と、り、	楚、の、成、公、元、年。	曹、の、僖、公、元、年。	
二	三	四	五	六	七

壬子	五月衛の懿公死す	八
癸丑	●衛の懿公死す○晋城と絳と作る	九
甲寅		十
乙卯		十一
丙辰	●晋の獻公の寵を以て妾驪姫を愛す齊桓公は生献公天子申生と曲沃に居しめ重耳と蒲と夷吾と屈と居しむ	十二
丁巳	●秦の宣公死す	十三
戊午	●秦の成公死す	十四
己未	●八月魯の莊公死す子の般はぐ十月慶父般と殺し啓方とたててけがしむれと桓公の子○曹の僖公死す子の班とぐ	十五
庚申	●魯の釐公●曹の昭公死す	十六

元 天皇 一 神武

講ハ神日本般余  
 彦の尊昔不食  
 尊才男の皇子あり  
 母ハ玉依姫といふ海  
 童の女なり十五歳  
 よそ太子とあり五

辛酉

●秋魯の慶父及公と弑して莒を亡  
 して冬齊の高子來り申と立てつが  
 一魯人慶父と執て誅す冬狄  
 一衛を攻る懿公鶴と好て民と  
 心をせざるより恨て拒む狄敗りて  
 懿公と殺す衛人戴公とす川に幾  
 なるずして死す其才燬たぐ○秦  
 の成公死すともれ任好つく

十二歳よりして正月位より即位す  
 月都と大和の畝傍山に造る橿原の宮といふ爾後平鈴  
 媛と皇后といふ天の種子に命天富の命なりんで政  
 ところ○これより元祿六年まで二千三百五十二年とす

二 道臣比命將軍 素戔

●魯の僖公●衛の文公●秦の穆公死す

の職に任ずる。二月二日諸臣は祿を賜ふ。寧麻志麻治の命天の目方奇日方命と申食因政太夫とす。今此大臣のしかり。

三月 帝野分 癸亥 燕の莊公死す 十九

二月 正史殿 甲子 燕の襄公は元年 廿

御て酒宴 乙丑 丙寅 晋の驪姫已が子奚齊と立人爲り太子申生と諸も献公諸は惑ふ申生縊死す申生 廿一

重耳 狄より一と夷吾屈より一と 廿二

丁卯 晋の献公出と一と夷吾梁より一と 廿三

戊辰 曹の昭公死す子の襄ははく 廿四

己巳 曹の共公は元年。十二月三崩す 廿五

十 襄王

名ハ鄭懿王の子なり海より地三年。宋の桓公死す。晋の献公死す。奚齊ははく其才早し傳荀息と弑す。

辛未 宋の襄公。晋の惠公の元四月周の忌父。晋の夷吾と一と一と惠公といふ。

壬申 夏叔帶戎の兵と來して周に寇とある。秦の穆公討平く。

癸酉 秋叔帶奔。奔る。陳の宣公死す。

甲戌 陳の穆公は元。王戎の難と孫と告る。桓公諸侯して周と成し。晋に國飢饉。惠公秦に糴とふ。穆公粟と輸る。

乙亥 冬秦に穆公死す。秦の國飢饉と穆公 六



共

戊子

六月齊の孝公死す才の般世つぎと殺し一  
つづり立○楚軍と起して宋と圍ひ宋と  
と晉と告る晉の卻毅師と出ると

十九

己巳

綱緒天皇  
ひまらひ

己巳

●齊の昭公死○春晉の文公宋と救らんが廿  
為先曹と侵し衛と伐楚より衛と救ふ  
三月文公曹に共公と執て宋より昇四月齊  
宋秦三國の兵と來して楚の師と敗り  
五月楚の俘と至り獻ぐ王文公と侯伯  
がす文公諸侯と踐き會ひ衛に成公  
大夫元頃と許とありて克と文公成公と  
執て周と敗る元頃衛より瑕と以る  
○陳の穆公死と

庚寅

●陳の共公の元年

廿一

辛卯

昭公の地の秋  
晴れ似たり  
て秋津湖と行ひく

辛卯

魯の僖公王と殺し王と文公に獻け衛に成  
公と請成公歎とて國より元頃と瑕と殺す

廿三

壬辰

壬辰

癸巳

楚の成公晉と和とす○四月鄭の文公死す  
子の蘭はく○十月晉此文公死と子驪と

廿四

甲午

甲午

●晉の襄公●鄭の穆公死○魯の僖公死と  
●魯此文公元年○二月朔思とく○十月

廿五

乙未

楚の商臣成公と執してみりうとつ

廿六

丙申

丙申

●楚の穆公元年

廿七

丁酉

正月秦の穆公晉と伐して王官と郊地ととら  
秋王秦の穆公と金の鼓と賜り西方諸侯  
の伯とす秦由余と謀と用ひ成と伐して

廿八

戊戌

戊戌

の伯とす秦由余と謀と用ひ成と伐して

廿九



丙午	乙巳	甲辰	癸卯	壬寅	辛丑	庚子	己亥	戊戌	丁未
			二月 項王	二月 襄王	二月 襄王	八月 襄公死す	八月 襄公死す	八月 襄公死す	五月 陳共公死す
			六年 二月 襄王	六年 二月 襄王	六年 二月 襄王	六年 二月 襄王	六年 二月 襄王	六年 二月 襄王	六年 二月 襄王
			六年 二月 襄王	六年 二月 襄王	六年 二月 襄王	六年 二月 襄王	六年 二月 襄王	六年 二月 襄王	六年 二月 襄王
四	三	二	元	元	元	元	元	元	元

と益し十二地と國と抗黑秦の威日よ盛なり

八月晋以襄公死す○秦の穆公死す子共公也

●晋の靈公●秦の康公元年○晋趙植也

夷皋とたててはげいしんと靈公とふ

●宋の昭公也元年○八月王崩也

正月三日禘

濟井耳の尊天子よとらふ

●魯主臣襄王の子なり流す

六年○二月襄王と葬る○秋曹

共公死す○冬燕の襄公死す

●曹以文公●燕の桓公也元年

五月陳共公死す子共公也

●子共公也○楚の穆公死す子共公也

●陳の靈公●鄭以定公●楚の莊王也

●春王六

崩也○五月孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

丁未	丙午	乙巳	甲辰	癸卯	壬寅	辛丑	庚子	己亥	戊戌	丁未
五	四	三	二	元	元	元	元	元	元	元

五月陳共公死す子共公也

●子共公也○楚の穆公死す子共公也

●陳の靈公●鄭以定公●楚の莊王也

●春王六

崩也○五月孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

●孫乃昭公死す子共公也

五九	五八	五七	五六	五五	五四	五三
己未	戊午	丁巳	丙辰	乙卯	甲寅	癸丑
燕の桓公死す	王の后と奔るるにふ	秦の桓公・鄭の襄公死す。九月十三	鄭の昭公・鄭の宣公と弑す。その堅に	二 定王 年。晋の成公死す。楚の荘王 借して王と稱す。十月鄭の穆公死す	賢とたてはぐし。十月王崩す	魯の宣公・秦の襄公・鄭の惠公死す。元年
五	四	三	二	元	六	五

六	五	四	三	二	一
庚申	辛酉	壬戌	癸亥	甲子	乙丑
燕の宣公元年	晋の成公死す。子の孺に。衛の成公死す。す子の遯に。滕の宣公死す	晋の景公・衛の穆公・滕の文公死す。八月	陳の成公・齊の頃公死す。十月楚の九 荘王陳の公子夏徴舒と殺す。宣公の子 午とたてはぐし。成公の子	晋の屠岸賈趙朔と殺す。具二族とす。趙十 朔妻を子り公宮に匿て男子とす。屠岸 賈公宮に入て索す。程嬰子と抱て山中 隠す。杵臼の難とす	



野

野

野

野

野

